



更新:2022年12月15日

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

女子委員会

2022年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦

大会要項 v1.0

- 1 **大会名称** 2022年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦
- 2 **主催** 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
- 3 **期間** 2022年12月24日(土)~2023年2月26日(日)
- 4 **会場** ダイドードリンコアイスアリーナ
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25 Tel: 042-467-7171
- 5 **大会事務局** 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25
Tel: 042-467-8282 Fax: 042-468-2131 E-mail: tihf@tihf.gr.jp
- 6 **参加チーム** SEIBU プリンセスラビッツ、日本体育大学、Tweedie Crest
東京女子体育大学、シルバーシールズ(5チーム)
- 7 **参加資格** 1) 選手およびスタッフは、(公財)東京都アイスホッケー連盟所属の女子チームに登録し、公益財団法人日本アイスホッケー連盟に登録している。
2) 出場選手は中学生以上とし、高校生以下の選手については各チームで保護者の承諾を得る。
- 8 **選手登録** **大会参加申込み期限[2022年11月30日(水)]までに登録が完了している。**
- 9 **代表者会議** 実施しない。必要事項については、E-mail、オンラインで協議・確認する。
- 10 **閉会式** 実施しない。
- 11 **表彰** チーム表彰は、優勝・準優勝・3位とする。
個人表彰は、各チームから1名ずつのベストプレイヤー賞とする(監督推薦)。
※表彰は、大会が中止・途中打ち切りになった場合は、行わない。
- 12 **参加申し込み期限**
以下を①女子委員会委員長②副委員長③連盟事務局宛てにE-mailにて送付する(1通のメールに3つの宛先を指定すること)。
 - 1) **2022年11月30日(水)までに**
 - (1) 指定の参加申込書(Excel、押印省略可。PDFに変換しないこと)
 - 2) **2022年12月14日(水)までに**
 - (2) 参加同意書(要署名、PDF)

- (3) スポーツ傷害保険加入証書の写し(PDF)、加入者明細の添付必須。

大会費 **200,000 円**

内訳)

大会参加費	30,000 円
試合費	170,000 円
計	200,000 円

13 振込み期限 **2022 年 12 月 21 日(水)**

14 振込先 銀行名: 東京三協信用金庫 東伏見支店(店番号 016)

口座名: 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
ザイトウキョウトアイスホッケーレンメイ

口座番号: 0104277

預金種目: 普通預金

※振込みの際は、振込人名義に必ず「チーム名」をつけてください。

15 キャンセル規定

- 試合を棄権したチームに返金はない。
- 一方のチームが試合を棄権する場合、対戦チームは、その時間帯を利用して、練習試合を組むか単独での練習を実施してください。
- 試合が中止となった場合は、リンクのキャンセル規定に基づき、返金を行う。

16 試合映像撮影・配信

- 本大会では試合の映像撮影および映像配信を行うことがある。本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利(公衆送信権)は、公益財団法人日本アイスホッケー連盟(以下 JIHF)に帰属することとし、公衆送信権を公益財団法人東京都アイスホッケー連盟(以下 TIHF)に許諾することがある。
- 本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は本大会参加中の肖像の管理を JIHF および TIHF に委ねることを、本大会参加をもって承諾したこととする。

17 その他

- 全試合無観客とする。チーム関係者の来場については、別途定める(人数制限等あり)。
- 新型コロナウイルス感染症の影響による日程変更・対戦方式の変更・特別な条項が追加される可能性があることをご承知おきください。

競技要項

18 競技方法・競技時間

- 1 回戦総当たりのリーグ戦で行う。
- 全試合正味 15 分(ストップタイム)×3ピリオドで行う。
- 練習・インターミッションは各 5 分とする。
(整氷→練習→P1→インターミッション→P2→インターミッション→P3)。
- ホーム・ビジター制度を適用する。試合前のパックスにより、ホーム・ビジターを決定する。
仮ホームチーム(2021 年度同大会の上位チーム、対戦表の左側)は、本部席から向かって左側のベンチに入る。
- 10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降、ランニングタイムとする。
 - 1) 差が縮まった場合でも継続する。
 - 2) 次の場合は時計を止めるものとする。
 - a) 得点時一旦止めるが、レフェリーがオフィシャルに報告にきた時点で、直ちにスタートする。
 - b) 反則発生時一旦止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - c) レフェリーの指示があったときに時計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - d) タイムアウト時、時計を止める。タイムアウト終了後のフェイスオフでスタートさせる。
 - 3) 反則時間終了時にプレーが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでバックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
- 1 試合につき、両チームそれぞれ 1 回のタイムアウト(30 秒)を取ることができる。

19 順位決定方法

ポイント制を採用する。ポイントは以下の通りとする。

勝ち	引き分け	負け
3	1	0

2 チーム以上のポイント数が同数の場合は、以下の順に順位を決定する。

- 1) 当該チーム間の試合で得たポイント数が多いチームを上位とする。
 - 2) 当該チーム間の試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
 - 3) 当該チーム間の試合の総得点数が大きいチームを上位とする(得点差)。
 - 4) 全試合の総得点数から総失点数を引いて、その差の大きいチームを上位とする(得失点差)。
 - 5) 全試合の総得点数が大きいチームを上位とする(得点差)。
 - 6) 2021 年度東京都女子アイスホッケーリーグ戦での上位チームを上位とする。
- 試合および大会が中止(延期できない)、途中打ち切りになった場合は、順位をつけない。

20 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則(第 21 項)を除いて、原則として国際競

技規則、および、公益財団法人日本アイスホッケー連盟が定める規則によるものとする。

国際アイスホッケー連盟(IIHF)改正新ルール適用

<2022-2023 シーズン>主なルールの変更・解釈について

<https://tihf.jp/doc?did=166634020870842500>

ただし、「第 38 条コーチチャレンジ」は適用しない(本大会では、ビデオサポートシステムを使用しないため)。

21 補助規則

- 1) 試合を棄権するチームは、速やかに、遅くとも試合開始日前日の 17 時まで、その理由を 1) 女子委員会に連絡し、2) 連盟まで文書で届け出なければならない。
試合を棄権した場合、0 対 15 で不戦敗とし、別に定める罰則規定により罰則を科す。
ただし、新型コロナウイルスによる試合棄権の場合は、0 対 15 で不戦敗とするが、罰則は科さない。
- 2) 連盟未登録選手が出場した場合、当該試合は没収試合とし、不戦敗とする。
- 3) オールメンバー表は、試合開始 30 分前までにオフィシャルに提出する。
- 4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。発覚次第、退場とする。
当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効とする。
当該選手がペナルティをおかした場合は、代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。背番号の間違いは発見次第、直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能とする。
- 5) 試合実施に必要な最低人数は 6 名(ゴールキーパー 1 名とスケーター 5 名)とする。試合開始時まで最低人数に満たない場合、当該チームは試合を棄権したものとみなし、不戦敗とする(棄権については 22-1 項を参照)。
両チームが人数に満たない場合は、両チームとも -15 点とし、両チームが不戦敗とする。
- 6) オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 7) ベンチ入りは選手・スタッフ(監督・コーチ等)を含めて最大 25 名までとする。ゴールキーパーは 2 名以内、スタッフは 6 名以内(最低 1 名)とする。
- 8) 選手は、統一したユニフォームとストッキングを着用し、ヘルメットとパンツは同色を着用しなければならない。
- 9) プレーヤーは、顔全面を覆うフルフェイスマスクの付いたヘルメット、ネックガード、マウスガードを着用しなければならない。
ヘルメットは、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは、指 1 本分のみとする。
- 10) ゴールキーパーは、ネックガード、および、パックおよびスティックが貫通しないマスクを着用しなければならない。
- 11) ユニフォームは完全にパンツの外側に着用し、タイダウンストラップで常にパンツに適切に固定しなければならない。(本大会については、タイダウンストラップ適用を猶予するが、パンツの中にユニフォームが入っていたら、都度、出すよう徹底しなければならない)。

- 12) ユニフォームの背中のネームプレートや背番号が見えなくなるほど髪の毛が長いプレーヤーは、ポニーテールにするか、ヘルメットの中に髪の毛を入れなければならない。
- 13) 選手の怪我防止のため、選手の用具やユニフォームが正しく着用されているかを確認するため、下記の手順を取る。
 - 試合開始前の整列時、正しく着用していない選手に対しては、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与える。
 - 試合開始後、正しく着用していない選手に対しては、ミスコンダクト・ペナルティを科す。これはレフェリーの判断によりペナルティを科すもので、チームからのアピールは受け付けない。
- 14) 「お守り」をつける場合は、パンツ等の中に縫い付けて着用する。防具等の外につけることはできない。
- 15) 危険防止のため、ベンチ入りする選手は試合中、フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する。
- 16) ペナルティベンチ内ではヘルメットを着用し、出場 30 秒前まではベンチに座っていること。
- 17) オフィシャル当番チームは、8名で担当する。(ゴールジャッジ2名、ペナルティアテンダント2名、タイマー1名、電光掲示板1名、記録1名、アナウンサー1名)。試合開始 30 分前に集合し、準備を行う。

当番を代行してもらうことは極力避ける。やむを得ず代理を立てる場合は、試合開始日前日の 17 時まで、代理の人員(チーム)とその理由を 1) 女子委員会に連絡し、2) 連盟まで文書にて届ける。

当番に遅刻・欠席、欠員した場合は、別に定める罰則規定により罰則を科す。
- 18) 試合には、当連盟レフェリー委員会より、レフェリー1名、ラインズパーソン2名を派遣する。

<コロナウイルス対応>

- 19) 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。
- 20) パックスは、ソーシャルディスタンスを保ち行う。
- 21) 試合時の握手は禁止する(選手、スタッフ、レフェリー、競技役員)。
- 22) ベンチ内において、スタッフは、飛沫飛散防止のための不織布マスクを正しく着用する。
- 23) ドリンクボトル、タオルは共有しない。
- 24) ペナルティボックス内の選手は、相手チームの得点時、自らドアを開けて出ていく。
- 25) 試合中、ベンチ内の選手は、交代選手以外は座っている。
- 26) 試合中断時、パックに触れない。ゴールキーパーはキャッチしたらリンク上に置く。
- 27) オフィシャル担当チームは、オフィシャルメンバー表を提出する。
- 28) インターミッション中はベンチ内にて待機し、氷上でのミーティング、水分補給等は禁止とする。

22 罰則規定

試合、オフィシャル当番に遅刻、欠席、欠員、棄権した場合や、連盟の規約違反をした場合は、

罰金から無期限試合出場停止までの罰則を科す。

23 保険の加入

大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険等に加入しておく。(保険証書の PDF を提出する。大会要項 12 項を参照)。

選手・スタッフ等の移動を含む本大会に係る事故、負傷、盗難等について、本連盟は責任を負わないので、各チームが責任を持って予め対処する。

24 試合中の負傷・傷害

試合中に選手が負傷した場合、応急処置は行うが、その後は各チームおよび個人の責任とする。

選手の負傷について、チームは所定の「傷病報告書」にて、公益財団法人東京都アイスホッケー連盟に届ける。

25 コロナウイルス対応の特別ルール

- 1) 選手、スタッフ、オフィシャルは大会 7 日前より大会終了後 7 日間まで、体温、体調および簡単な外出メモを記録する(フォームは自由、アプリ利用可)。提出依頼があった際に、提出できるようにしておく。
- 2) チーム内に陽性者、および濃厚接触者が発生した場合は、速やかにその旨と状況および経過をチーム代表者より女子委員会に連絡し、医療機関、保健所、自治体等の指示に従い活動を自粛する。
- 3) 施設関連：
 - 入退場については、指定された時間に、指定された出入り口を使用する。
 - 施設に入る際は、手指消毒を実施し検温を受ける。
 - 施設内において、氷上・ベンチ内以外は常に不織布マスクを着用すること(雨天時の室内アップにおいても着用する。)
 - 控室使用の可否、着替え・ミーティングに使用するリンクサイドエリアは、当日指定する。指定エリア(着替え場所・トイレ・アップ場所)以外への立ち入り禁止。
 - 試合終了後、ベンチ内清掃(アルコール消毒)を行う。(連盟役員の指示に従って実施する)
 - 施設内において、選手の水分補給以外は基本的に飲食禁止。
ゴミはチーム・個人で必ず持ち帰る。試合後、ベンチ内や着替えエリアにゴミ(ドリンクのボトルや使用済みのティッシュ等)を放置しない。忘れ物がないか確認する。施設内のゴミ箱やリサイクルボックスが使用できる場合は、正しく分別して入れる。

*** 新型コロナ対策等の社会情勢により大会期間中であっても内容変更の場合があることをご承知おきください。**